

社会福祉連携推進法人



い-ま-る

# 自己紹介



社会福祉連携推進法人いーまーる  
理事 磯 健太

所属：社会福祉法人麗峰会 事務局長

出身：沖縄県

趣味：ゲーム、子供と遊ぶ

特技：水泳

近況：ダイエット



い-ま-る



## 法人概要 CORPORATE OVERVIEW

法人名称	社会福祉連携推進法人い-ま-る
設立日	令和6年10月1日（一般社団法人として）
認可日	令和6年11月29日
設立時社員	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人麗峰会</li><li>・社会福祉法人光和会</li><li>・学校法人大庭学園</li><li>・有限会社ケアセンターきらめき</li><li>・社会福祉法人一心福祉会</li></ul>
社員総数	設立時5社+a社（今後計画を立て社員を増やす可能性あり）
本拠点（事務所）	住所：沖縄県那覇市辻2-27-1



## 社会福祉法人麗峰会



分野 介護

拠点 那覇市、沖縄市、伊江村

職員数 約240名



## 社会福祉法人光和会



分野 介護、保育、学校

拠点 沖縄市、金武町

職員数 約120名



## 社会福祉法人一心福祉会



分野 介護、障害

拠点 大宜味村、東村

職員数 約200名



## 学校法人大庭学園



分野 学校、保育

拠点 那覇市、沖縄市、石垣市

職員数 約120名



## 有限会社

## ケアセンターきらめき



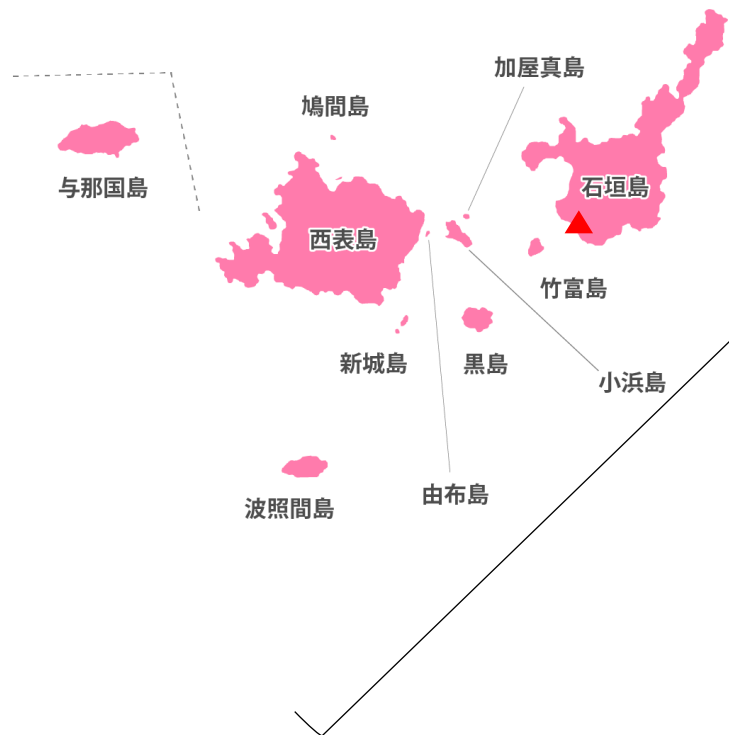
分野 障害、介護

拠点 読谷村、嘉手納町、北谷町、宜野湾市、那覇市

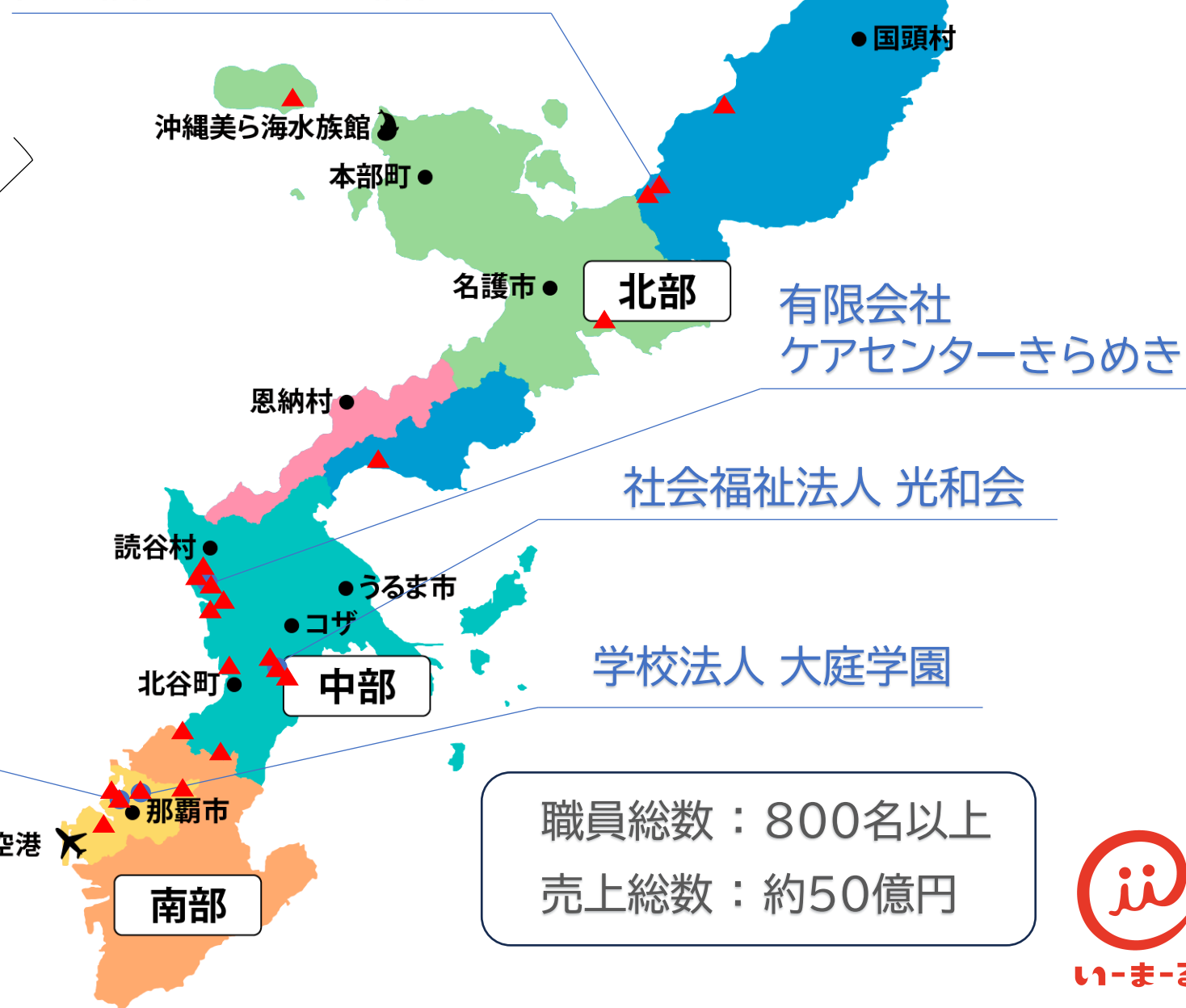
職員数 約120名



# 社会福祉法人 一心福社会



## 社会福祉法人 麗峰会



- 社員法人：5法人
- ▲ 事業所：52事業所

職員総数：800名以上  
売上総数：約50億円



い-ま-る

# 設立経緯として ①

---

設立経緯のご説明にあたり、沖縄県の状況を少しお伝え致します。沖縄県は離島県でもあり、多くの離島地域で福祉サービスを受けている方がおりますが、人手不足によりサービスが受けられない状況が危機と迫っています。すでに我々連携推進法人の設立と同時期に、1つの離島(与那国島)においては特養が閉鎖となりました。また数年前まで、沖縄県内の介護の専門学校は「4校」ありましたが、人材不足の情勢から介護の学生数も減ってきており、現在は「2校」となっている事もまず始めにお伝えしておきます。

そこで設立経緯となりますが、私たち連携推進法人は、学校法人大庭学園(介護・保育の専門学校)が、社員に入っていますが、令和6年1月頃、当学校法人より、「沖縄県内の介護人材の供給のためにも、どうか専門学校を存続できるよう協力頂けないか」と、日頃から実習生受入れ等で連携していた、私共((福)麗峰会)にお声掛けを頂き、我々県内の社福法人も人材不足の危機感を、ここ数年は特に各自治体等にも訴えかけていたことから、二つ返事で連携強化する運びとなりました。

# 設立経緯として ②

---

連携推進法人を設立するにあたり、主となる目的の1つが、「離島を含めた、沖縄県全域の福祉サービスの継続」を考えていたため、介護だけでなく障害や保育を含めた福祉の各分野、および県内全域をカバーできる方向性も念頭におきながら、各法人へお声掛けする事になりますが、1番重要視したことは、共に目的達成に向け連携しながら協働できそうな「人物」を中心にお声掛けさせて頂きました。結果として、厳選しながら5法人にお声掛けさせて頂き、内3法人が加入し、5法人での連携推進法人の設立となりました。（※補足：残り2法人の内、1法人は加入前提で動いていたが、理事会の賛同が得られず途中離脱となり、1法人は保留となった）

また設立まで毎月2回以上、合計20回以上の準備会を開き、設立に至りました。設立後も、当準備会は「定例会」として名称を変え、現在も継続し実施しています。

# 施設見学 & 交流会



# 各種イベントへの積極的介入



**軽装OK**  
**予約不要**

福祉(人)×クリエイティブ(幸せ)  
魅力いっぱい福祉業界!  
福祉に興味のある方、  
無資格・未経験でも大丈夫!  
たれでも参加できる。

## 就職フェア

### SOCIAL WORKERS

# 福祉の未来

2025

障がい  
高齢  
児童  
社会福祉  
協議会

**日時・会場**

**10/31**  
南部  
Fri  
12:20~16:00  
(開場・受付:12:00)  
会場マラソン▲

**11/28**  
北部  
Fri  
12:30~15:00  
(開場・受付:12:00)  
会場マラソン▲

**12/5**  
中部  
Fri  
12:20~16:00  
(開場・受付:12:00)  
会場マラソン▲

**参加対象者**

- 福祉の職場に就職・転職を希望する方
- 福祉の仕事に興味がある方(無資格・未経験者可)
- 新卒学生(令和8年3月卒業予定の学生)
- 学卒未就職者

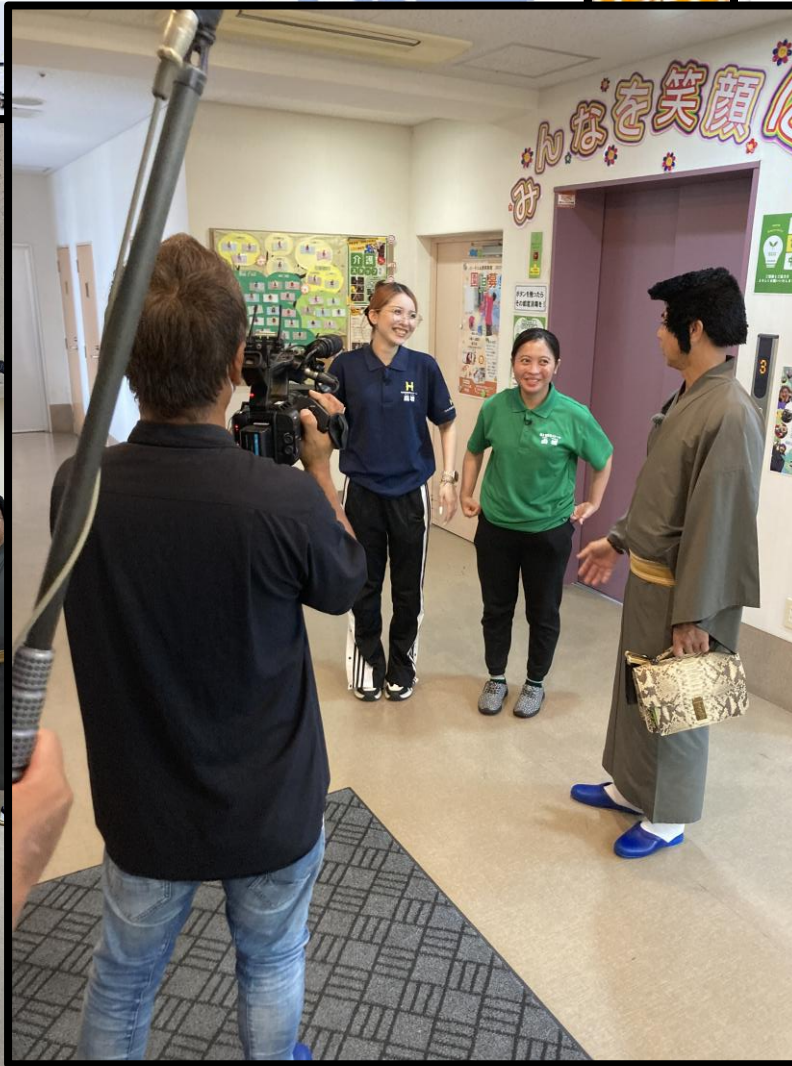
会場で3事業所以上  
面談された方に  
ステキなギフトを  
プレゼント!  
各会場  
先着50名

詳しい情報は、裏面でご確認ください。

■主催 沖縄県社会福祉協議会、名護市社会福祉協議会  
■共催 沖縄労働局(ハローワーク)、全国社会福祉協議会  
■後援 厚生労働省、沖縄県キャリアセンター、沖縄県保育士・保育所総合支援センター、  
沖縄県労働基準協会、沖縄労働センター沖縄県支部、沖縄県商工会、沖縄県福祉協会の協力本部、  
沖縄県大学就職指導協議会、沖縄県介護福祉士養成協議会、沖縄県高等学校各種学校協議会、沖縄県高等学校福祉教育研究会



高齢社会の進展で障がい者福祉施設への二  
月、県内の5法人で設立した「社会福祉連携推進法



# 米の共同購入で価格低減 沖縄の社会福祉連 携推進法人いーまーる

2025年06月10日

福祉新聞編集部



0:03 / 1:30

1x

職員の育成定着については、働きやすさやモチベーションの維持向上を図るための対話や伴奏支援が重要であるが、そのためには、個別の各課題や悩みなどに応じた日々の支援が必要になる。

そのため、福祉業界における独自のプラットフォームの構築を目指し、福祉の繋がりを内外で広げていく事で、同僚あるいはご家族や同業他者などとの交流、またその中で賞賛や共感といった繋がりを通す事で、育成定着に繋げ、それを地域や社会に広げる事で、魅力発信にもつなげていく流れを構想。



OKINAWA Co-Creation Lab. 2025



# OKINAWA Co-Creation Lab. 2025



## 社会とつながる 共感創出プラットフォームの構築

現場で培われた実践知をデジタルで可視化し、支援職の魅力や価値を社会に伝えるプラットフォームを共創。称賛機能や地域連携を通じて、共感を広げ、人材の定着・再参入・新規参入を促します。



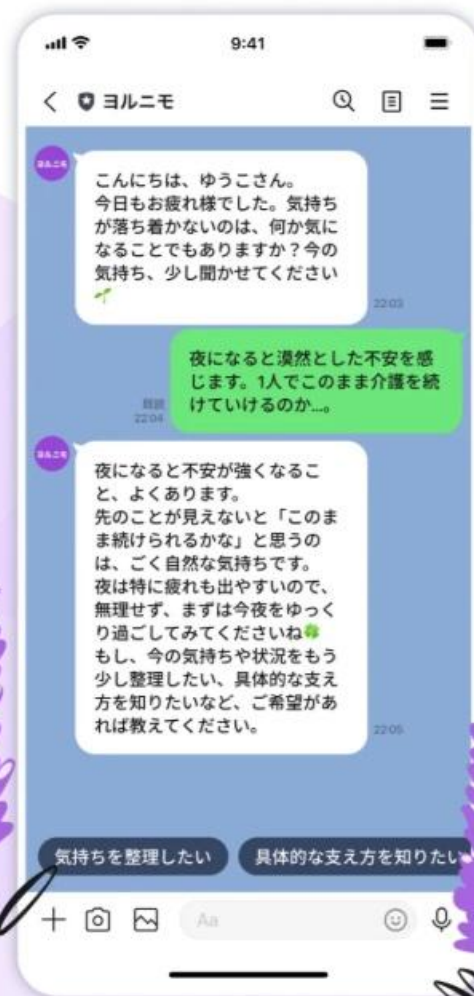
## 福祉法人間で学び合い高め合う 連携基盤の構築

複数の福祉法人が相互に事例やノウハウを共有し、スタッフのスキルや多様な働き方を評価・奨励。組織間で現場力を高め合い、人材育成と活躍を支える連携基盤の構築を目指します。

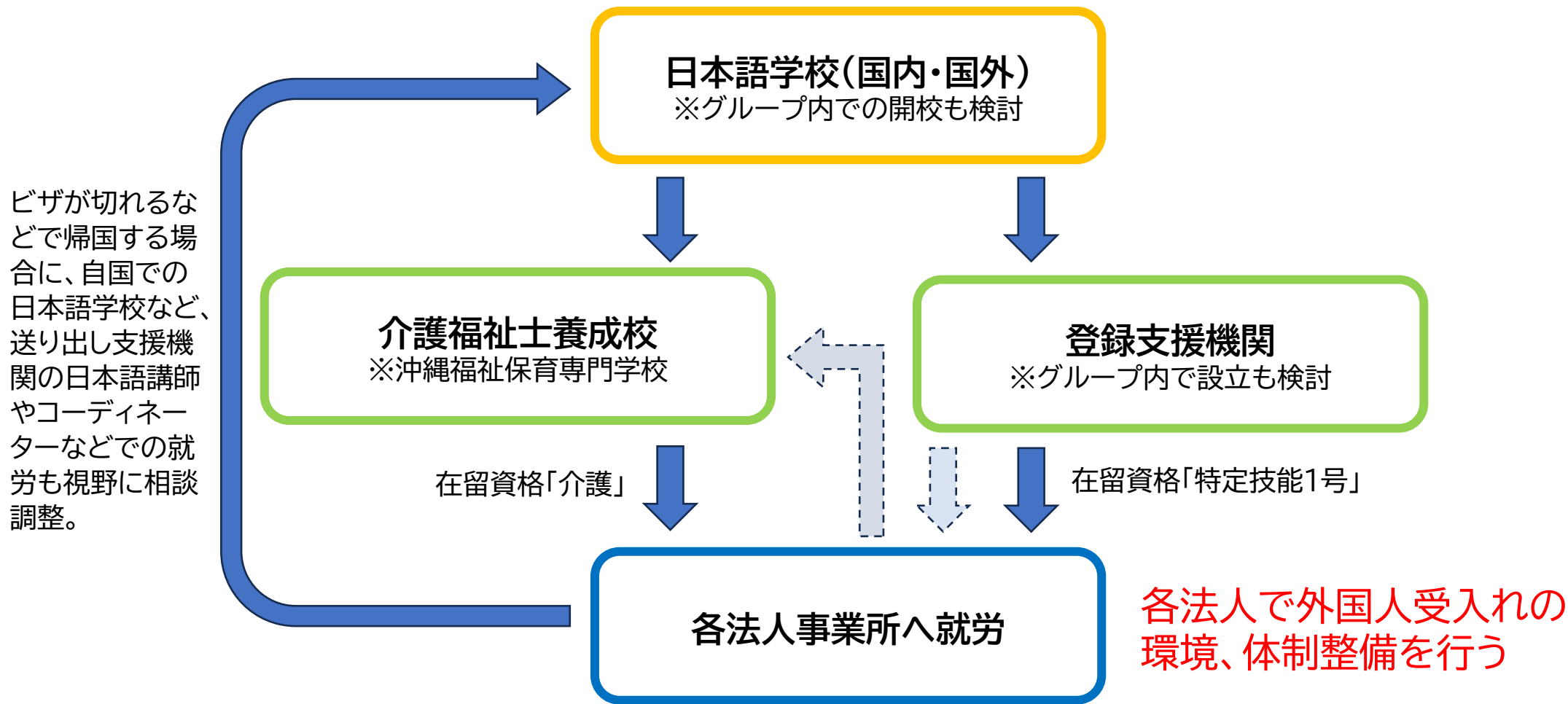


## 介護の中で そっと、歩む力を 紡ぐ場所

LINE友だち追加は  
こちらから



# 社会福祉連携推進法人いーまーるの外国人介護者の確保、育成、定着の構想





事業所数:50以上 職員数:800名以上 ( 介護 ・ 障害 ・ 保育 ・ 教育 )

### 経営効率PT

- バックオフィス研究
  - ・共通課題の確認
  - ・事務職種の合同MTG
  - ・共通ソフトの検討
  - ・労務/経理/請求等
- 共同購入物品、共同契約・見積検討
  - ・保険関連、電気
  - ・食料品、日用品
  - ・介護用品等

### 中経コアPT

- 協働共創事業
  - ・県内の福祉連携のプラットフォーム構築
  - ・福祉の魅力発信
  - ・福祉現場/地域の情報共有、課題解決
- SE育成事業
  - ・人材管理システムの構築
  - ・社員法人のDX化



### 災害対策PT

- 応援体制の構築
  - ・災害時における、県内全域への応援
- BCP互助システム
- 防災士の育成

### 人材採用PT

- 外国人材の確保
  - ・送り出し受入れ～就職の流れを構築
  - ・登録支援機関同様の支援体制を構築
- 離島/へき地への人材供給の仕組み
- 共同求人活動
  - ・求人の集約
  - ・合同説明会など
  - 福祉就職フェア

### 人材育成PT

- 階層別の教育プログラムの策定
  - ・新任/中堅/管理職
  - 外国人/その他
- 実習の効果的受入
  - ・実習の積極的受入
  - ・受入担当者の育成
  - ・楽しい福祉の実践
- 社員内講師の育成
  - ・初任者/実務者研修
  - ・介護入門的研修
  - ・経営コンサルタント

# 『いーまーる』の コアコンピタンス (中核の強み)

## 供給力

- ・ 福祉分野全般のノウハウ
- ・ 教育機関との連携
- ・ 人材供給システムの構築
- ・ 外国人人材の供給
- ・ 離島含む県内全域への供給
- ・ 出向/派遣のシステム
- ・ 災害時における応援体制
- ・ 物資等の供給
- ・ 福祉特化のS E人材

## 魅力

- ・ スケールを活かした発信力
  - ・ 繋ぐ力 (内と外・自と他)
  - ・ 福祉の魅力の発信
  - ・ DX化への推進力
  - ・ **供給力、育成力**を含む魅力
  - ・ 楽しい福祉の実践 (定着)
- 
- ・ 助け合いの意識から生れる  
共同/共有/共用/共創/共感

## 育成力

- ・ 独自の研修プログラム  
(システム設計、内部講師等)
  - ・ 階層別に応じた育成  
(管理職、中堅、新任等)
  - ・ 各種別育成カリキュラム  
(介護、保育、障害、外国人等)
- 
- ・ 講師、コア職員の育成
  - ・ 福祉S E、防災士の育成



# 主な課題

## ～社会福祉連携推進法人の設立から運営～

### 課題1

#### コンセンサスな意思決定

- 複数法人の意見集約
- 旗持ちとなる法人
- ファシリテーター役

運営を円滑に推進するための意思決定やその調整をどうするか。特に立ち上げは先導し動いていくためのチカラが必要。

### 課題2

#### 運営のコスト リソース面

- 運営費用
- 事務局機能
- 収益化・利益率

事業を効果的・効率的に進めるにあたり、また持続的に事業を継続するため、連携推進法人自体の収入源をどうするか。

### 課題3

#### 制度の側面 協力体制の確立

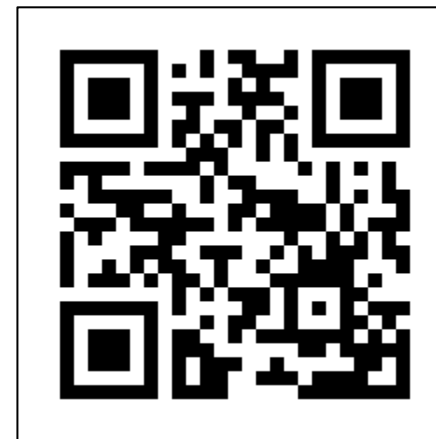
- 制度の理解・浸透・熟成
- 収益が上げにくい
- 自治体等の理解や協力

制度上の制約があるため、連携推進法人を継続して運営するにあたってのメリットやインセンティブ等をどこにおけるか。

# 社会福祉連携推進法人



い-ま-る



↑  
ホームページはこちら。  
<http://iimaaru.com>

社会福祉連携推進法人い-ま-る

